



2024年11月1日

近江鉄道株式会社

一般路線バスの上限運賃変更認可申請について

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：飯田 則昭）は、2024年11月1日（金）、国土交通省近畿運輸局長に対し、一般乗合バス事業の上限運賃変更の認可申請を行いました。

詳細は以下のとおりです。

記

1. 申請理由

当社の一般乗合バスは、1997年11月以来、消費税率引き上げに伴う運賃改定を除き、約27年間運賃を据え置いて事業を継続してまいりました。この間、人口減少、少子高齢化、自家用車の普及等による通勤・通学客の減少、昨今では新型コロナウイルス感染拡大の影響による新たな生活様式の定着に伴う移動需要自体の減少により、収入面は極めて厳しい状況におかれています。

他方、深刻化する乗務員不足を補うための待遇改善、必要人員の確保に伴う人件費の増加や、燃料費を始めとした諸物価高騰により、輸送にかかるコストはますます上昇し、さらに、老朽化した車両の定期的な更新や、バスロケーションシステム、ICカードシステムの維持・更新など、安全性確保・利便性向上のために、今後も継続的に投資を行う必要がございます。

このような状況を踏まえ、お客さまに安全・安心な輸送サービスを持続的に提供し、公共交通機関としての使命を果たすべく、今般運賃改定の申請を行うことといたしました。

ご利用のお客さまには、諸事情ご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2. 運賃改定の概要

(1) 申請日

2024年11月1日（金）

(2) 運賃改定実施予定日

2025年4月1日（火）

(3) 申請対象路線

一般路線バス全線

※下記の市町村コミュニティバスは除く

草津市まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス、日野町営バス、東近江市ちょこっとバス

(4) 上限運賃の平均改定率

21.0%

(5) 実施運賃の平均改定率

15.4%

(6) 特殊区間制運賃制度の見直し

浜大津～石山駅周辺の京阪バス株式会社との同一運行区間（特殊区間制運賃）においては、2024年12月1日（日）に京阪バス株式会社が運賃制度を見直したことを受け、当社もこれに同調し、特区と1区を統合します。

(7) 現行・申請運賃比較表

運賃形態	現行制度・現行運賃		新制度	上限運賃※1	実施運賃※2
対キ口区間制	基準賃率	46円50銭	-	56円20銭	現行運賃に <u>一律40円上乗せ</u> ※3
特殊区間制 (浜大津～石山周辺の 一部エリア)	特区	230円	1区	290円	250円
	1区	250円			

※1 上限運賃：一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出され、お客さまから収受してもよいとされる運賃の上限額

※2 実施運賃：上限運賃の範囲内で設定する、実際にお客さまから収受する運賃額

※3 一部路線は除く

3. 定期券の取り扱いについて

(1) 通勤定期券、通学定期券、通学学期定期券

通勤定期券、通学定期券、通学学期定期券の3種類のバスICOCA定期券は、“乗車区間”を保証する定期券ではなく、“指定運賃”を保証する「金額式定期券」であることから、運賃改定に伴う取り扱いは下記の通りとなります。

<A>有効期間が2025年3月31日までの定期券

→現行運賃に対応する運賃区間の定期券を販売

(例) 現在180円区間の定期券をご利用の場合は、現行の180円区間の定期券を販売

有効期間が2025年4月1日（運賃改定日）からの定期券

→改定後の運賃に対応する運賃区間の定期券を販売

(例) 現在180円区間の定期券をご利用の場合は、改定後の220円区間の定期券を販売

<C>有効期間が2025年4月1日（運賃改定日）をまたぐ定期券

①運賃改定日以降も同一の定期券を引き続き使用する場合は、運賃改定日以降は差額分をICOCAチャージ残高等よりお支払いください。

(例) 現在180円区間の定期券をご利用の場合は、運賃改定後もお持ちの定期券は180円区間の金額式定期券としてご利用頂けます。そのため、現行は片道180円、運賃改定後は片道220円となる区間をご利用頂く場合は、差額の40円を乗車の度にICOCAチャージ残高等よりお支払い頂きご乗車ください。

②現行運賃の定期券の払い戻しを行い、改定後運賃の定期券を買いなおす場合は、特例の払戻方式にて払い戻しを行います。なお、特例の払戻方式については、改めてご案内いたします。

(例) 現在180円区間の定期券をご利用の場合は、4/1以降に定期販売窓口にて払い戻しを行い、改めて220円区間の定期券をご購入ください。

(2) 小判手形

下記の通り、販売額を改定いたします。

現行		改定後	
1ヶ月：2,100円	} + 1乗車100円で乗車	1ヶ月：2,500円	} + 1乗車100円で乗車
3ヶ月：5,200円		3ヶ月：5,900円	
6ヶ月：9,300円		6ヶ月：10,600円	

※その他の定期券については改めてご案内させていただきます。（認可後にプレスリリース予定）

4. 主な区間の運賃比較表

区間	片道運賃		通勤定期券（1ヶ月）	
	現行	改定後	現行	改定後
瀬田駅 ~ 栗林町	220円	260円	9,900円	11,700円
南草津駅西口 ~ イオンモール草津	250円	290円	11,250円	13,050円
南草津駅 ~ 松ヶ丘五丁目	330円	370円	14,850円	16,650円
草津駅西口 ~ 下笠中央	240円	280円	10,800円	12,600円
守山駅 ~ ネオベラヴィータ	470円	510円	21,150円	22,950円
守山駅 ~ 滋賀県立総合病院	180円	220円	8,100円	9,900円
野洲駅 ~ 三井アウトレットパーク	470円	510円	21,150円	22,950円
野洲駅 ~ 村田製作所	320円	360円	14,400円	16,200円
近江八幡駅 ~ 三井アウトレットパーク	520円	560円	23,400円	24,750円
近江八幡駅 ~ 北之庄ラコリーナ前	370円	410円	16,650円	18,450円
近江八幡駅南口 ~ 日野駅	570円	610円	25,050円	26,250円
能登川駅 ~ 八日市駅	380円	420円	17,100円	18,900円
八日市駅 ~ 永源寺車庫	630円	670円	26,850円	28,050円

5. 経営改善、今後の取り組み

当社ではこれまで、利用状況を鑑みた運行ダイヤの見直しや、不採算路線の再編等により事業運営の適正化に取り組み、エコドライブ実施による燃料費抑制や、車内広告や車体へのラッピング広告による広告収入の確保などにより、収支改善に努めてまいりました。

また、コロナ禍においては、生活様式・社会環境の変化による輸送需要の変動に対応し、運行計画の変更などにより、路線網の継続的な維持に努めました。

さらに、深刻な運転手不足の解消を図る為、基本給の引き上げや、大型二種免許の取得支援などにより、待遇向上による在籍乗務員の定着化、未経験者を含めた新規乗務員の採用強化に取り組んでおります。

今後もお客さまの利便性向上に努め、交通データの有効活用等による輸送効率化・業務効率化などにより、さらなる経営改善を進め、事業を継続してまいります。

6. 安全対策への取り組み

当社では、「すべてに安全が最優先である」という安全方針を掲げ、社長をはじめとした全ての役員・社員が一丸となって輸送の安全性向上に取り組んでいます。

老朽化車両の定期的な代替や、ドライバー異常時対応システム（EDSS）を搭載した車両導入により設備面での安全性向上に加え、睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査や脳ドッグの受診による適切な健康管理により健康起因の事故を未然に防ぐ取り組みを行っております。

また、ドライブレコーダーを活用した事故防止研修をはじめ、バスジャック研修や安全運転技能競技会、適性診断受診結果の活用など、年間を通じて安全に対する教育・指導を行うことで、安全意識の高揚と事故防止に取り組んでいます。

今後もお客さまに安心してバスをご利用頂けるよう、引き続き輸送の安全性の向上に努めてまいります。

7. サービス向上への取り組み

お客さまの利便向上施策として、2017年よりバスロケーションシステムによる路線バスのリアルタイムな運行情報の提供の開始、2021年より全国交通系ICカードに対応しました。全国交通系ICカード導入エリアでは、利用区間が指定区間に限られている“区間式定期券”より、指定金額以内の運賃区間であればどこでも乗車できる“金額式定期券”を導入することで、路線バスの利用機会創出に努めました。

さらに、来年度には「Web定期券サービス（仮称）」の導入を予定しており、現在窓口でのみ販売しているバス定期券を、お持ちのPC・スマートフォンより、いつでもどこでもご購入頂けるようにすることで、お客さまのさらなる利便性向上に努めます。（※Web定期券サービスの詳細については、後日改めてお知らせします）

今後も、さらなるサービス向上のための施策を積極的に取り組んでまいります。

◇お客さまからのお問合せ先

近江鉄道株式会社 自動車部

TEL.0749-22-3305（平日8：30～17：30）